

## 令和7年度事業計画

### 1. 基本方針

国の統計によると、令和6年9月時点での総人口は、前年に比べ59万人減少し1億2,378万人となっている。一方、65歳以上の人口は3,625万人となり昨年に比べ2万人増加し、過去最多となりました。総人口に占める高齢者割合は29.3%となり前年に比べ0.2ポイント上昇し、過去最高となりました。

また、労働力調査では、令和6年の高齢者の就業率は昨年と同率の25.2%と過去最多となっています。企業においては、65歳までの雇用確保の義務に加え、「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」の改正により、70歳までの就業機会の確保が努力義務として課せられているなどの影響もあり、シルバー人材センターへの入会希望者は、全国的に年々減少している状況です。

当センターにおいても、人材不足の深刻化が進んでおり、特に草刈り作業や、剪定作業の会員の高齢化に伴い、後継者の育成は急務となっています。当該作業への就業希望者も少なく、このままでは業務の継続が難しくなってしまうため、早急に解決しなければならない課題となっています。

引き続き役職員及び会員が一丸となって会員の拡大に向け取り組んでいくほか、グラウンド・ゴルフ大会の開催・新入会員初年度会費無料キャンペーン・夫婦割・新入会員紹介ポイント制度・プラム会員制度を利用して会員拡大と退会抑制に積極的に取り組みます。

また、昨年11月に施行された「特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律（略称：フリーランス法）」に適切に対応するためシルバー事業における新しい契約方式への円滑な移行を進めていきます。

今後到来するデジタル化社会を見据え、事業のデジタル化を推進することにより、業務の効率化や会員のデジタル対応の向上に取り組みます。

当センターでは、令和7年度における目標と取り組むべき具体的な事業の方向性を定め、「自主・自立、共働・共助」の基本理念のもと、会員・役職員が共に知恵と行動力を集結し、地域社会に信頼されるシルバー人材センターを目指し、効率的な事業の推進と活性化に取り組んでまいります。

### 2. 事業目標

事業目標	目標値（請負）	目標値（派遣）
会員数	258人	
受注件数	1,750件	70件
受注額	89,520千円	25,750千円
就業延人員	18,700人日	4,600人日
就業率	80%	

### 3. 事業実施計画

#### (1) 会員の確保・拡大

会員の拡大を最重要課題として、会員拡大の推進と退会抑制を重点とした会員獲得を推進します。

- ①新入会員初年度会費無料キャンペーン・夫婦割・新入会員者紹介ポイント制度・プラム会員制度の実施
- ②女性会員拡大のために女性委員会の活動の推進
- ③市広報誌、ホームページ、機関紙「シルバー美濃」などに会員の募集記事の掲載
- ④チラシ等のポスティングや各種イベントにおいてPR活動の展開
- ⑤毎月第3水曜日の入会説明会に加え、入会希望者があれば随時入会説明会等を開催し新規会員の入会促進

#### (2) 就業機会の確保・拡大

会員に適した就業機会の確保及び就業の場を提供するため、会員・役職員が一丸となって就業の新規開拓及び拡大に努めます。

- ①新規受注紹介ポイント制度の実施
- ②チラシ・ホームページ等を活用し、新規就業先の開拓及び拡大
- ③未就業会員の就業促進
- ④新しい分野への就業開拓

#### (3) 安全・適正就業推進

安全就業は、シルバー事業の基本であるため、「事故ゼロ」を目指し安全就業の徹底を推進します。

また、法令を遵守し「適正就業ガイドライン」に沿った適正就業に取り組みます。

- ①安全委員会の開催
- ②安全パトロールの実施
- ③安全講習会の開催・研修会等への参加
- ④健康管理についての周知
- ⑤適正就業ガイドラインの周知徹底
- ⑥長期就業を是正し、就業機会の公平化

#### (4) 普及啓発活動の推進

あらゆる機会をとらえて、市民や地域社会、事業所等にシルバー人材センター事業を広くPRし事業の拡大を図ります。

- ①広報誌「シルバー美濃」、チラシ、パンフレットの配布及びホームページを活用した情報発信
- ②イベントに積極的に参加し、「石焼きいも・うだつ石鹸」の販売を通じ、当センターをPR
- ③毎月「事務局だより」を発行し会員の意識高揚

## (5) 講習会・研修会の開催

会員の就業に必要な知識、技能等の向上及び就業機会の促進を図るために各種講習会等を開催します。

- ① 剪定講習会の開催
- ② センターと会員間の連携を図るアプリ等を活用できるよう、パソコンやスマートフォン講習会等の実施
- ③ 加齢とともに衰えていく身体機能の維持・向上のための健幸体操教室の開催
- ④ 岐阜県シルバー人材センター連合会が実施する高齢者活躍人材確保事業に参画し、送迎福祉有償運送講習、就業体験等の実施

## (6) 調査研究活動

センターに求められる多様なニーズに対応し、センター事業の健全な発展のため、先進事例等の調査や先進センター・関係機関・団体との情報交換、会議及び研修会・講習会等に会員・役職員の参加を促進し、知識の取得、資質の向上に努めます。

## (7) 事務局体制

デジタル化社会を見据え、センター事業のデジタル機能強化による業務の効率化を目指すとともに事務局職員の資質の向上に努め、事務局の機能強化を図ります。

## (8) ボランティア活動の実施

会員によるボランティア活動を実施し、地域貢献に努めます。継続的なボランティア活動として「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間（10月）」に除草清掃ボランティア活動を実施します。

## (9) 設立30周年記念事業の実施

本年は法人設立30周年の記念の年に当たります。法人設立以来活躍された会員及び役職員の努力、お世話になった方々に感謝するための記念事業を実施します。

## (10) 独自事業の実施

会員の就業機会の場を確保するため、会員の自主的な組織「石罅部会」と「焼きいも部会」をさらに充実させるとともに、「にんにくの栽培」にも取り組みシルバー人材センターのPRと販売の拡大を推進します。